

東御市立図書館評価

令和4年度の取り組み結果と令和5年度目標

評価段階	A…計画通り実施し、一定の成果があった。 B…概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。 C…不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。
------	---

★東御市「総合計画」に基づく評価

施策 目標	評価対象事業	総合計画の目標値	令和4年度目標	令和4年度取り組み結果	自己評価	特記事項	外部評価
人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進							
・地域の情報の収集・提供の拠点として、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指します。							
	ア 図書館利用者の増加	年間来館者11万人	・来館者100,000人 (総合計画を基に、コロナの影響が無いとした場合の算出)	・来館者63,110人 (R3実績：66,880人) (R2実績：62,352人)	B	・R3年度と比較すると5%の減となった。	B
	イ 蔵書の充実	R6年度(2024年度)を修正 ↓ R8年度(2026年度)までに18万冊	・蔵書数 169,000冊	・蔵書数 168,848冊 (R3 166,013冊)	A	・5,209冊の受け入れがあったが2,374冊除籍がり、2,835冊の増となった。	A
	ウ 市民ニーズの把握	3年毎にアンケートを実施。 利用者のニーズを把握し改善する。	・課題を洗い出し、改善を図る。	・R3年3月～4月 市民1,000人にアンケートを実施。 (356人回答：図書館利用者54%)	B	課題である図書館のPR不足を解消するためHPやLINE等で広報周知を強化した。	B
	エ 図書館評価	内部・外部の評価を実施し、公表する。	・R3年度評価結果を公表し、図書館運営の充実を図る。	・R3年度評価結果を令和4年9月に館内及びHPに公表した。	B	図書館協議会の委員に評価をしていただき集計。	B

★東御市立図書館「基本理念」に基づく評価

基本目標 ～出会いを楽しむ 学びと創造の拠点づくり～

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和4年度目標	令和4年度取り組み結果	自己評価	特記事項	外部評価
1 読書や学習活動を支え、出会いと交流を楽しむ図書館							
① 市民の読書環境、学習環境の充実を図ります。							
読書環境の整備と充実	蔵書の充実・予約サービス等各種サービスを充実し利用者が満足する読書環境を提供する。	・寄贈本の積極的な受け入れ420冊発行して1年以内の本、特に絵本、紙芝居、児童書を依頼し図書館の蔵書不足と、市民が読み終えた本の有効活用を図る。	・寄贈本554冊（市報、図書館HPで寄贈条件を示し募集）	A	寄贈図書受け入れの基準を定め、図書館が必要とする蔵書の充実を図った。	A	
② 市民のニーズに応えるさまざまな講座を開催し、学習・交流の場を提供します。							
朗読講座	朗読等の講座を開設し、朗読の技術向上を志す市民の交流の場を提供する。	・実施数2回	・1月予定していた朗読の技術向上講座はコロナの影響で開催しなかったが、「宮澤賢治を読む」講座を5回コースで行った。参加者のべ71人	B		B	
③ 閲覧席の充実、休憩や飲食コーナーを配置して居心地の良い空間を提供します。							
施設管理等	施設管理等により読書環境を維持する。施設内外の環境美化、図書の破損・汚損防止に努める。	・案内誘導の強化、工夫 ・巡回点検、施設管理・補修・修繕・館外環境の整備（草刈・除雪等）	・図書館北口の案内誘導看板のほかクロちゃんのパネルを設置し誘導。	A	図書館3階東側の天井から雨漏りが発生したが早急に修繕し対応した。	A	

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和4年度目標	令和4年度取り組み結果	令和4年度取り組み結果		
					自己評価	特記事項	外部評価
2 地域の情報拠点、暮らしや仕事に役立つ図書館							
① 庁舎併設の利点を生かし、行政資料の積極的な収集・提供に努めます。							
	行政資料収集・提供	予算関係・事業報告・事業計画等の資料収集を行い、蔵書の充実を図る。	・積極的な情報収集、情報発信を行い、資料収集を図る。	・計画策定部署に提供依頼の働きかけを行い、積極的に収集を行った。	B	資料収集のほか、職員向けPRを実施した。	B
② 広域ネットワークを利用した幅広い資料の提供を行います。							
	上田地域広域ネットワーク	ネットワークを活用して予約・貸出・返却の機能充実を図る。	・エコール管内での利活用拡大を図る。	・エコール館内での利活用拡大を図る。 Web予約冊 R4年度 61,878冊 (R3年度 59,685冊) (R2年度 55,097冊)	B	・新規カード作成時にネット予約の案内を行い登録を促した。	B

③ 農業、地場産業、観光に関する情報の収集に努めます。						
産業振興関連の蔵書収集	農業・地場産業・観光に関する蔵書の充実を図る。	・ワイン関係、農業、観光等書籍の拡充	・注目度の高いワインに関する蔵書の特設コーナーを設置し、市民の地場産業への関心を高めた。	B		B
④ インターネット、データベースを活用した情報提供の充実を図ります。						
インターネット利用による情報提供	インターネットの活用により課題解決の手助けを行う。	・インターネット利用 1,200件	・インターネット利用791件（R3実績 1,084件） ・デジとしょ信州の登録者188人	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月の利用席を中止とした。	B
⑤ レファレンスサービスの向上に努めます。						
レファレンスサービスの利用促進	身近なレファレンスサービスの実施。	・レファレンスサービスの実施 130件	・レファレンスサービスの実施 170件（R3実績119件）	A	・質問しやすい雰囲気づくりを心がけた。	A
施策目標	評価対象事業	中期的目標	令和4年度目標	令和4年度取り組み結果	自己評価	外部評価
3 学校、家庭、地域との連携で子供たちを育てる図書館						
①ブックスタート事業や絵本の読み聞かせ等を行い、幼年期の読書環境の整備に努めます。						
ブックスタート事業・幼児と絵本等	赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合う時間を育てる。	・ブックスタートで絵本の出張プレゼント実施（毎月） 絵本を介して親子の触れ合いの重要性を説明。	・ブックスタート：出張プレゼントの実施（12回：170冊） ・幼児と絵本（5回：262人）	A	・ブックスタートは10か月児健診で絵本をプレゼント、幼児と絵本は2歳6か月児健診で絵本を楽しむ体験の場を提供。	A
②幼・保・小・中学校と連携し、学習活動の支援を行います。						
学校・保育園等連携事業	学校図書館への支援貸出や、調べ学習の支援を行い、授業での図書の活用・利用促進を促す。	・調べ学習支援貸出の実施 ・移動図書館車の保育園運行 ・学校と連携を強化して子ども読書活動の推進を図る。	・調べ学習等支援貸出の実施 延べ15回、179冊 ・移動図書館車保育園巡回	B	・調べ学習支援貸出の実施、市内保育園への移動図書館巡回を実施した。	B
③学校・家庭と連携し、子供の読書環境の整備充実を図ります。						
よみきかせ講座事業	読書・読み聞かせ講座等を開設し、読み聞かせの楽しさへの理解を深める。	・読み聞かせのための講座を開催する。読み聞かせ活動をする人のスキルアップに努める。	・いきいき読書講座の開催（7月・1月）	B	・読み聞かせの基本についての講座を行った。	B
④地域の高校生、専門学校生、大学生にも親しめる学習場所として、若者の創造性を培う環境の整備に努めます。						
実習・研修受入れ事業	職場体験により、図書館への理解を深める。	・職場体験等の受入指導内容の点検を行い、より効果的な指導を目指す。	・実習受入を実施（東部中学校3人・丸子修学館1人）	A	・職業体験の指導を行い、職業に従事する機会を与えた。	A

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和４年度目標	令和4年度取り組み結果	自己評価	特記事項	外部評価
4 地域文化を創造し、市民協働による図書館							
①市民の学習活動、文化活動等を活発に展開します。							
	文化活動支援	市民の求めに応じた出前講座を行い、地域の文化活動を支援する。	・出前講座の実施 地域に伝わる身近な昔話等を紹介し郷土を愛する心を育てる。	・出前講座は1件依頼があったが、コロナの影響でキャンセルとなった。	C		C
②市民が参画できるような、図書館運営を目指します。							
	イベントへの市民参加	朗読会・図書館まつり等に市民から協力を求め、企画段階から参加し、協働運営を目指す。	・市民協働イベントの開催（図書館まつり・朗読会）	・10月に開催した第8回朗読会では参加者が主体的に運営を行った。	A	・企画段階から市民自らが主体となり、選書に参加し、舞台装飾も考案した。	A
③図書館ボランティアの育成に努め、活動を支援します。							
	朗読ボランティア育成	朗読ボランティアへの活動支援を行い、レベルアップを図る。	・育成支援活動の実施（朗読講座、朗読会）	・朗読会を開催するにあたって、技術向上のための指導会を実施した。	B		B

図書館協議会委員からのコメント

- ・出前講座の依頼が増えてくるといいですね。市報等でアピールしてもいいかもしれません。
- ・蔵書について、もう少し増やしてもいいのではと思います。
- ・職場体験の範囲を、小学校（夏休み中の半日体験）まで広げてみてはいかがでしょうか。
- ・様々な活動に取り組まれていることがわかりました。広く周知し、図書館利用に結びつけられると良いと思います。児童（家庭）の利用促進を考えたいと思います。
- ・利用者数の減少は、ネットの普及により図書館に行かなくても本が手に入ったり、必要な情報を得ることができるからだと思います。
- ・ブックスタート等は図書館の利用のきっかけになるので、継続し、更に充実して欲しいです。
- ・ネット弱者の高齢者向けのサービスを考案したら良いかと考えます。
- ・日々色々な努力をされている事を委員になり始めて知りました。図書館の存在を市民にもっと知ってもらい足を運んでもらう事が一番かと思います。
- ・乳幼児期、小・中学校は読書活動を沢山されている事もわかります。でも、市民（大人）の方たちは知らないのでは？子どもの頃読書習慣ができていても、大人になって継続している方は少ないと思います。沢山の蔵書があるのにもったいない。本大好きな私は図書館がとてもありがたい存在です。魅力がないからではないと思います。読書習慣がない、忙しい、読書より面白い事がある等、それら原因をどうするかが利用者を増やしたり、図書館の存在をアピールする方法かと思います。